

国土数値情報（ニュータウン）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 26 年 3 月

国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2013 年 3 月	初版
第 1.1 版	2014 年 3 月	<ul style="list-style-type: none">・属性「事業年度」「開始年」、「事業年度」「終了年」、「計画戸数」、「計画人口」の不明箇所は「-1」とした。・地区が複数に分かれるが、「計画戸数」・「計画人口」の全体値しか分からない場合は、代表地区に属性を付与し、それ以外は「-2」とした。

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 施設パッケージ.....	5
4.1.3 ニュータウンパッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	11
4.2 空間スキーマプロファイル.....	11
4.3 時間スキーマプロファイル.....	11
5 参照系.....	11
5.1 座標参照系.....	11
5.2 時間参照系.....	11
6 データ品質.....	12
7 データ製品配布.....	16
7.1 配布書式情報.....	16
7.2 配布媒体情報.....	16
8 メタデータ.....	17
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（ニュータウン）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：2014 年 3 月 14 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課
- 言語：日本語
- 分野：施設
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

ニュータウンとは、都市の過密化への対策として郊外に新たに建設された新しい市街地である。国の機関や地方自治体が法的根拠（新住宅市街地開発法や土地区画整理事業法）に基づいてマスタープランを起案し自らがデベロッパーとなって建設するものと、民間デベロッパーが任意に建設するものがある。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
 - 日本全国
- 時間範囲
 - 2014 年 4 月 1 日時点

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」

- 国土交通省国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス

URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

- ニュータウン

都市の過密化への対策として郊外に新たに建設された新しい市街地。国の機関や地方自治体が法的根拠（新住宅市街地開発法や土地区画整理事業法）に基づいてマスタープランを起案し自らがデベロッパーとなって建設するものと、民間デベロッパーが任意に建設するものがある。

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（ニュータウン）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（ニュータウン）データ

■ 日付

2014 年 3 月 14 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土政策局 国土情報課

電話：03-5253-8111 FAX：03-5253-1569

Email：nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

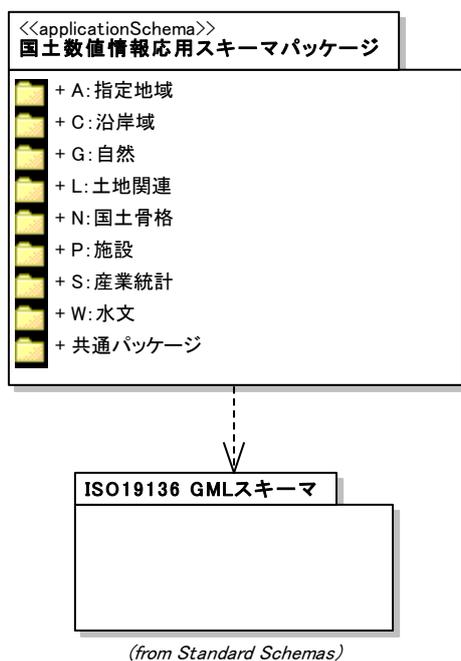
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

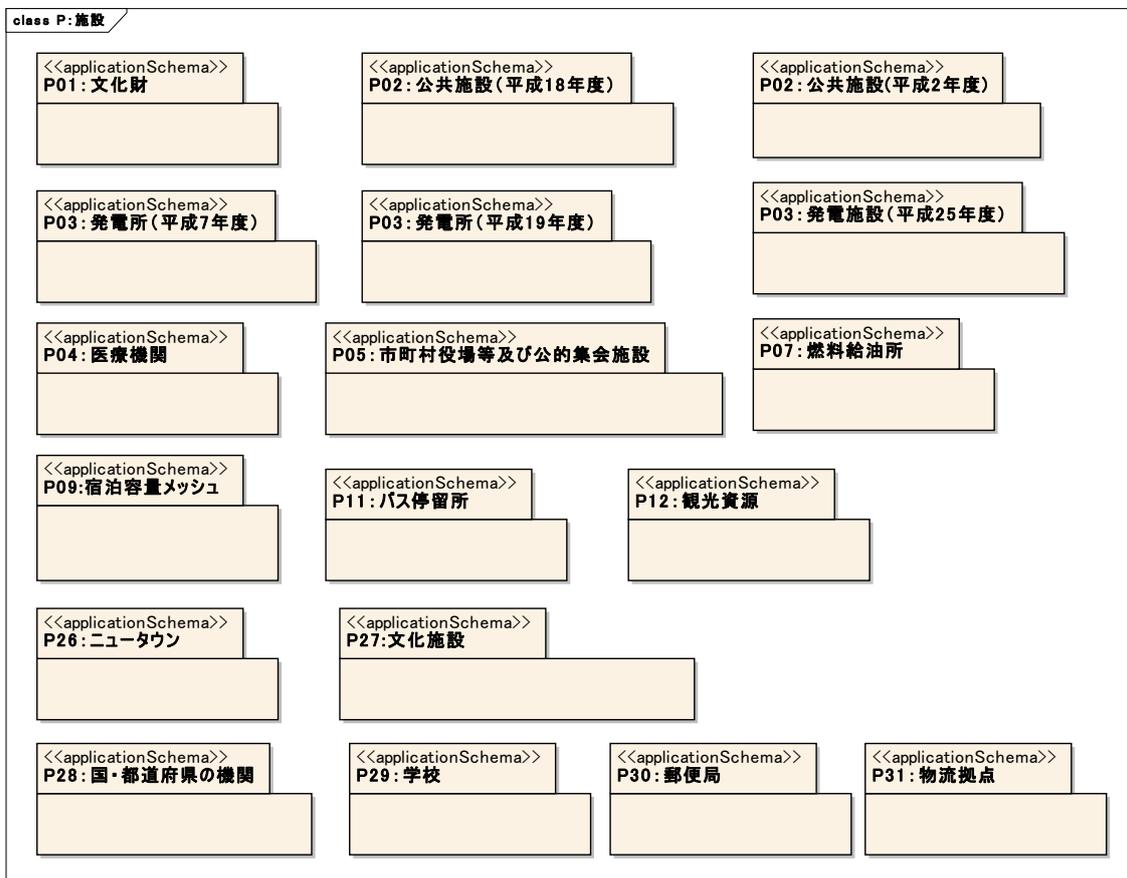
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 施設パッケージ

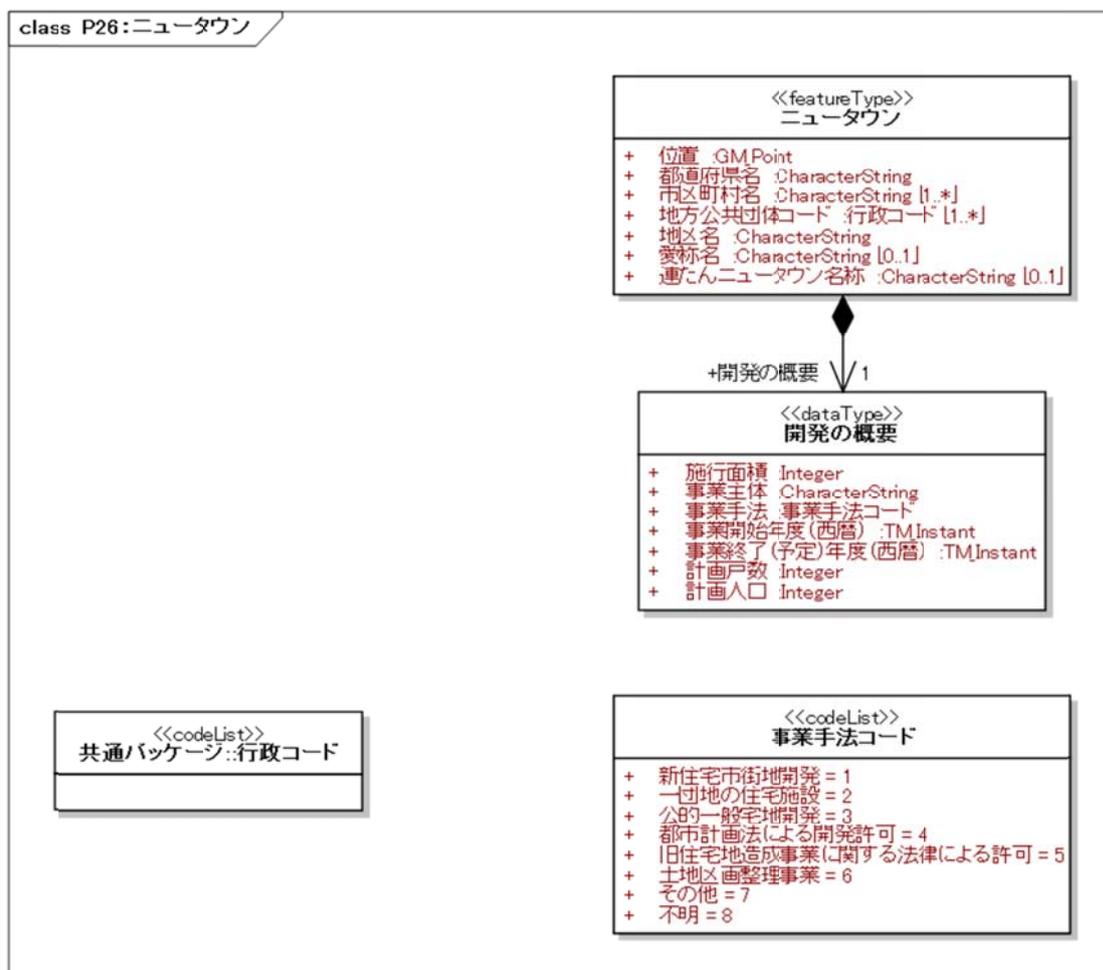
このパッケージは、施設に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 ニュータウンパッケージ

このパッケージは、ニュータウンに関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

ニュータウン

都市の過密化への対策として郊外に新たに建設された新しい市街地。国の機関や地方自治体が法的根拠（新住宅市街地開発法や土地区画整理事業法）に基づいてマスタープランを起案し自らがデベロッパーとなって建設するものと、民間デベロッパーが任意に建設するものがある。

ここでは、次の条件①～③を満たす住宅・宅地開発事業で開発された地区とする。

条件① 昭和 30 年度以降に着手された事業

条件② 計画戸数 1,000 戸以上又は計画人口 3,000 人以上の増加を計画した事業のうち、地区面積 16ha 以上であるもの

※住宅・宅地供給だけではなく、公共公益施設の整備も伴うことが多くなる 1,000 戸（3,000 人）以上の住宅・宅地開発事業を対象とする。また、面的な開発（16ha 以上）を対象とし、単体のマンション建設は含まない。

※住宅・宅地開発事業が複数集まって一つのニュータウンを構成する場合や、一つの住宅・宅地開発事業を工区に分けて施行する場合は、それを「連たんニュータウン」として、1000 戸等の数値要件は連たんニュータウンの全体に当てはめて判断する。

※中止又は休止された住宅・宅地開発事業については、既に 1,000 戸の住宅宅地供給又は 3,000 人の居住人口があるものとする。

条件③ 郊外での開発事業（事業開始時に DID 外であった事業）

※原則として、土地区画整理事業については区画整理年報に記載された DID 内外の区分により判断し、新住事業等の全面買取型の事業は DID 外で行われたものと判断する。

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

位置：GM_Point

当該ニュータウンの代表位置。

■ 取得基準

点で取得する。

ニュータウンの区域内に概ね中心に存在すること。

都道府県名 : **CharacterString**

各ニュータウンの所在する都道府県名。

市区町村名[1..*] : **CharacterString**

各ニュータウンの所在する市町村名。

地方公共団体コード : 行政区域コード

都道府県コードと市区町村コードからなる，ニュータウンが存在する行政区を特定するためのコード。 JIS 規格（JIS X 0401， JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

JIS 規格が定める 5 桁のコード値。

地区名 : **CharacterString**

住宅・宅地開発事業に使用された地区名。

愛称名[0..1] : **CharacterString**

宅地分譲等が行われた時の愛称等。

連たんニュータウン名称[0..1] : **CharacterString**

「連たんニュータウン」とは、「住宅・宅地開発事業が複数集まって一つのニュータウンを構成しているもの」であり，その名称。具体的には，同一又は複数の事業主体が連携して，全体としての計画（マスタープラン）のもとに事業や工区を分けて整備しているニュータウンや，当該地区に計画上の関連性があり，かつ実態上，地元では一つのニュータウンとして認識され，呼称されているニュータウンなどを想定する。

関連役割

開発の概要 : 開発の概要

当該ニュータウンの開発の概要。計画が変更された場合は，変更後の計画によるデータとなる。

開発の概要

ニュータウン建設の概要。なお，計画が変更された場合，変更後の計画によるデータとする。不明な場合には「-」と記載する。

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

施行面積：Real

事業地区の面積。単位は「ha」。

事業主体：CharacterString

各ニュータウンの事業主体の区分。]

事業手法：事業手法コード

各ニュータウンの事業手法を特定するためのコード。

■ 定義域

1～8 のうちの該当する値。

1～8 の内容は、「事業手法コード」（下表）を参照。

コード	対応する内容
1	新住宅市街地開発事業
2	一団地の住宅施設
3	公的一般宅地開発事業 (公的主体による住宅・宅地開発事業で、1, 2, 4~7 のいずれの手法にも よらないもの)
4	都市計画法による開発許可
5	旧住宅地造成事業に関する法律による許可
6	土地区画整理事業
7	その他、上記以外の事業手法 例) 公有水面埋立事業、民間主体による開発行為で都市計画法第 29 条に 基づく許可を要しないもの 等
8	不明

事業開始年度（西暦）：TM_Instant

事業開始年度を、事業手法ごとに以下により記載する。

新住宅市街地開発事業 …事業認可年度

一団地の住宅施設 …都市計画決定年度

公的一般宅地開発事業 …許認可等年度又は工事着手年度

都市計画法による開発許可 …開発許可年度

旧住宅地造成事業に関する法律による許可 …旧住造法許可年度
土地区画整理事業 …事業認可年度
上記以外の事業手法 …許認可等年度又は工事着手年度
不明 …許認可等年度又は工事着手年度

■ 定義域

西暦で年のみとする。不明な場合は「-1」とする。

事業終了（予定）年度（西暦）：TM_Instant

事業終了（予定）年度を、事業手法ごとに以下により記載する。まだ終了していないものの終了年度は、予定年度とする。

新住宅市街地開発事業 …最終工事完了公告年度
一団地の住宅施設 …完成年度
公的一般宅地開発事業 …工事終了年度
都市計画法による開発許可 …完了公告年度
旧住宅地造成事業に関する法律による許可 …工事終了年
土地区画整理事業 …換地処分公告年度
上記以外の事業手法 …工事終了年度
不明 …工事終了年度

■ 定義域

西暦で年のみとする。不明な場合は「-1」とする。

計画戸数：Integer

事業計画上の計画戸数について、資料等によりデータが確認できる場合に掲載する。計画が変更された場合、変更後の計画によるデータを記載する。実際の戸数とは異なる場合がある。不明な場合は「-1」とする。地区が複数に分かれるが全体値しか分からない場合は、代表地区に属性を付与し、それ以外は「-2」とする。単位は「戸」。

計画人口[0..1]：Integer

事業計画上の計画人口について、資料等によりデータが確認できる場合に掲載する。計画が変更された場合、変更後の計画によるデータを記載する。実際の人口とは異なる場合がある。不明な場合は「-1」とする。地区が複数に分かれるが全体値しか分からない場合は、代表地区に属性を付与し、それ以外は「-2」とする。単位は「人」。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2000 /(B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応関係がとれない地物がデータ集合内に存在する場合。 <p>データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。</p> <p>誤率 (%) = (過剰なデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>参照データは、原典資料または監督員が指定する資料とする。</p> <p>地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 <p>計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率=0% であれば“合格”</p> <p>誤率>0% であれば“不合格”</p>
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 <p>誤率 (%) = (漏れのデータ数 / 参照データに含まれるデータの総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>参照データは、原典資料または監督員が指定する資料とする。</p> <p>地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 <p>計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。</p> <p>誤率=0% であれば“合格”</p>

	誤率>0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラムによって評価する。 一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XML スキーマに対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。 ■空間スキーマプロファイルに関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。</p> <p>以下の場合エラーとする</p> <ul style="list-style-type: none"> 空間属性及び時間属性が、適用範囲内に含まれない場合。 <p>コードリストで表わされる主題属性の値が、定義されたコードリストの値に含まれない場合。</p> <p>誤率 (%) = (定義域外の値をもつ地物属性の数 / データ集合内の地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <p>属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。</p>
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物と原点資料等を重ねてディスプレイ上または出力図に表示し、原典資料と比較し、位置のズレの最大値を測定する。
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置の座標と参照データの座標との誤差を測定する。 誤差の最も大きい値と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合格を判定する。 <p>“適合品質水準 ≥ 位置のズレの最大値”であれば“合格”</p> <p>“適合品質水準 < 位置のズレの最大値”であれば“不合格”</p>
適合品質水準	水平位置の標準偏差：25m

品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) × 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 参照データは、原典資料または監督員が指定する資料とする。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 “適合品質水準\geq誤率”であれば“合格” “適合品質水準$<$誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	定量的な主題属性のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、参照データ同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。</p> <p>誤率 (%) = (地物属性のエラー数 / 検査した地物属性の総数) \times 100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参照データは、原典資料または監督員が指定する資料とする。 ・地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ・データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ・計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 “適合品質水準\geq誤率”であれば“合格” “適合品質水準$<$誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (ニュータウン) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XML Schema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（ニュータウン）製品仕様書 第1.1版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名
施設	P26:ニュータウン				
	ニュータウン			NewTown	New Town
		位置	GM_Point	position	position
		都道府県名	CharacterString	prefecture	prefecture
		市区町村名	CharacterString	address	Address
		地方公共団体コード	行政区域コード	administrativeArea	administrative area
		地区名	CharacterString	townName	town name
		愛称名	CharacterString	nickname	nickname
		連たんニュータウン名称	CharacterString	complexTownName	complex town name
		開発の概要	開発の概要	developmentSummary	development summary
	開発の概要			DevelopmentSummary	development summary
		施行面積	Integer	area	area
		事業主体	CharacterString	projectImplementingBody	project implementing body
		事業手法	事業手法コード	type	project type
		事業開始年度(西暦)	TM_Instant	startYear	start year
		事業終了(予定)年度(西暦)	TM_Instant	endYear	end year
		計画戸数	Integer	plannedNumberOfHouses	planned number of houses
	計画人口	Integer	plannedPopulation	planned population	

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="4.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>ニュータウン</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/
gml.xsd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="NewTown" type="ksj:NewTownType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature"/>
  <xsd:complexType name="NewTownType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>ニュータウン</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
```

```

<xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>位置</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="prefecture" type="xsd:string">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="address" type="xsd:string" maxOccurs="unbounded">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>市区町村名</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="administrativeArea" type="gml:CodeType">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>地方公共団体コード</xsd:documentation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="townName" type="xsd:string">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>地区名</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="nickname" type="xsd:string" minOccurs="0">
      <xsd:annotation>
        <xsd:documentation>愛称名</xsd:documentation>
      </xsd:annotation>
    </xsd:element>
    <xsd:element name="complexTownName" type="xsd:string" minOccurs="0">

```

```

    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>連たんニュータウン名称</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
  <xsd:element name="developmentSummary"
type="ksj:DevelopmentSummaryPropertyType" minOccurs="0">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>開発の概要</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="NewTownPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:NewTown"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="NewTownMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:NewTown"/>
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="DevelopmentSummary" type="ksj:DevelopmentSummaryType"
substitutionGroup="gml:AbstractObject"/>
<xsd:complexType name="DevelopmentSummaryType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>開発の概要</xsd:documentation>

```

```

</xsd:annotation>
<xsd:sequence>
  <xsd:element name="area" type="xsd:double"/>
  <xsd:element name="projectImplementingBody" type="xsd:string"/>
  <xsd:element name="type" type="ksj:ProjectTypeCodeType"/>
  <xsd:element name="startYear" type="gml:TimeInstantPropertyType"/>
  <xsd:element name="endYear" type="gml:TimeInstantPropertyType"/>
  <xsd:element name="plannedNumberOfHouses" type="xsd:integer" minOccurs="0"/>
  <xsd:element name="plannedPopulation" type="xsd:integer"/>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="DevelopmentSummaryPropertyType">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="ksj:DevelopmentSummary"/>
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup"/>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="ProjectTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>事業手法コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:enumeration value="1">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>新住宅市街地開発事業</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
    <xsd:enumeration value="2">
      <xsd:annotation>
        <xsd:appinfo>
          <gml:description>一団地の住宅施設</gml:description>
        </xsd:appinfo>
      </xsd:annotation>
    </xsd:enumeration>
  </xsd:restriction>

```

```
<xsd:enumeration value="3">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>公的一般宅地開発事業</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="4">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>都市計画法による開発許可</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="5">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>旧住宅地造成事業に関する法律による許可</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="6">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>土地区画整理事業</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="7">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>その他</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="8">
```

```
<xsd:annotation>
  <xsd:appinfo>
    <gml:description>不明</gml:description>
  </xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>
```